



# 社教NFTかわら版

中部教育事務所社会教育だより (NFT=network・footwork・teamwork)

中部教育事務所第53号  
令和5年10月13日  
主任社会教育主事  
山崎一也・濱本智子

## 令和5年度 高知県地域学校協働活動研修会（中部ブロック）のご案内 ～地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの一体的な推進に向けて～

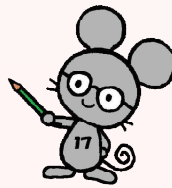
10月20日（金）に高知県地域学校協働活動研修会（中部ブロック）が本山町立嶺北中学校で開催されます。この研修会は「地域との連携・協働」の更なる推進を目指し事業理解を深め、身近な地域での実践事例を共有する研修会です。地域ぐるみで子どもの育ちを支援する体制づくりなど、各地域・学校での今後の活動に役立ててもらうことを目的としています。

研修会の詳細については、中部教育事務所HPをご覧ください。

日時 令和5年10月20日（金）

会場 本山町立嶺北中学校

日程	13:00～13:30	受付
	13:30～14:20	公開授業
	14:40～14:55	開会行事
	14:55～15:10	事業説明
	15:10～15:40	実践発表
	15:40～16:25	情報交換
	16:25～16:30	閉会行事



【授業公開】 総合的な学習の時間  
 1年 本山町の魅力を深掘り  
 2年 販売学習を成功させよう  
 3年 本山町☆MIRAI☆のつくりて

【実践発表】 本山町教育委員会・嶺北中学校  
「できる人が できる時に できることから」

### 令和5年度 高知県地域学校協働活動研修会 （中部ブロック）

10月20日（金）13:30～16:30  
本山町立嶺北中学校



内容：授業公開・事業説明・実践発表・情報交換等  
対象：市町村担当、学校関係者、市町村運営委員、地域コーディネーター、地域学校協働活動推進員、協働活動支援員、協働活動サポーター、学校運営協議会委員等

主催/お問い合わせ 高知県教育委員会事務局  
中部教育事務所（担当：竹内）  
電話 088-893-6166  
メール 310305@ken.pref.kochi.lg.jp

## 令和5年度 PTA研究大会・研修大会のご案内

### 土長南国PTA連絡協議会研究大会

研究テーマ 「家庭・学校・地域が一体となったPTA活動」

日時 令和5年10月28日（土）13:40～16:30 会場 大豊町立大豊学園

演題 「ポストコロナ社会を生きる子どもたち」

講師 原清治氏（佛教大学副学長 教育学部教授） 事例発表 大豊学園PTA

### 高岡地区PTA研修大会

研究テーマ 「心豊かな子どもを育む特色あるPTA活動」

日時 令和5年10月28日（土）13:00～15:30 会場 土佐市複合文化施設 つないで

演題 「学校の外側と内側とを行き来をしながら見ている光景」

講師 野崎浩平氏 実践発表 土佐市高石小学校PTA

### 中部教育事務所管内の社会教育活動を発信します



この「社教NFTかわら版」はみなさんの地域や社会教育活動を応援する情報誌です。社会教育に関わる活動情報がありましたらぜひお知らせください。

連絡先 高知県教育委員会事務局 中部教育事務所

TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167 E-mail [310305@ken.pref.kochi.lg.jp](mailto:310305@ken.pref.kochi.lg.jp)



# 令和5年度 PTA・教育行政研修会

【テーマ】子どもたちを取り巻く様々な課題を共有し、具体的な取組につなげよう

中部管内の学校・保護者・行政（高知県教育委員会、市町村教育委員会等）が共通の課題意識を持ち、子どもたちを取り巻く状況の改善に向けて、PTAができることを考え、行動につなげることを目的として、吾川郡（7月1日）土長南国地区（7月9日）高岡地区（7月29日）3つの地区にて、PTA・教育行政研修会が開催されました。全体会では、高知県教育委員会から第3期高知県教育振興基本計画（第3次改訂版）のポイントについて、参加者と意見交換を行いました。テーマ別研修会は、第1部と第2部の構成でグループ協議も行い研修を深めることができました。

## 【テーマ別研修会】

第1部 「子どもとのかかわりの中で大切にしたいこと」  
～特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解と対応～

第2部 「メディアと生活習慣・学力 ～家庭PTAでできること～ Ver.2」



## 参加者アンケートより

- 「メディアと生活習慣・学力」では、グループ討議の中では意見が出やすく、身近な課題であると思った。スマホ自体が良くないものだと思っていたが、使い方によってはマイナスなことばかりではないことを再認識できた。上手な使い方を学校の授業の中でも子どもたちが聞く機会があればいいと思った。
- 特別支援教育（特に発達障害）については、理解が得られにくく、困難さが伝わりづらいため、このような場で共通理解を図ることは大切だと感じた。学校としては取り組んでいるつもりだが、保護者の方の生の声を聞き改めて取組の必要性を感じた。また、メディアについては、PTAも関心が高く、共に考える話題として良いテーマだと感じた。
- 土佐市でも「とさっ子ネットルール」を使い、親も子も家庭でルールを決め、取り組むことを行っている。アンケートではルールがない家庭が多く、休みの日は一日中ゲームをしている児童がいる実態があった。保護者の危機意識として、子どもたちに働きかけができるようになると思った。
- 支援を必要とする児童について、かんしゃくを起こす児童にも何かしらの困り感を抱えており、児童の成長に関わる大人は、それを意識しておくことが大切だと感じました。これからの児童との関わり方にも気をつけたいです。
- メディアについての研修をPTAの保護者の方と共に聞いたことはよかったと思います。学校だけでどうしてもトラブルは解消できないのが現状なので、家庭でのルールをを大事にしていくことが大切だと感じました。
- SNS、リテラシーについては、本校でも課題となっている。保護者の意識をかえるために学校でもできることを考えていきたい。職員の意識も変えていく必要があると思う。子ども・家庭・学校が連携していける方法を考えたい。